

飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進モデル事業について

飼い主のいない猫等の不妊去勢手術の推進 [試行的実施]

野良猫の繁殖や社会問題となっている多頭飼育崩壊を抑制し、猫の収容と殺処分の削減を図る。
以下のとおり協議会を設立し、R5年度は試行的に実施する。

● 飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進協議会（仮称）

〈構成〉 市、動物関係団体、獣医師会 等

〈実施内容〉 相談対応、現地調査、実施場所の選定

不妊去勢手術の支援、猫の捕獲・運搬等のサポート



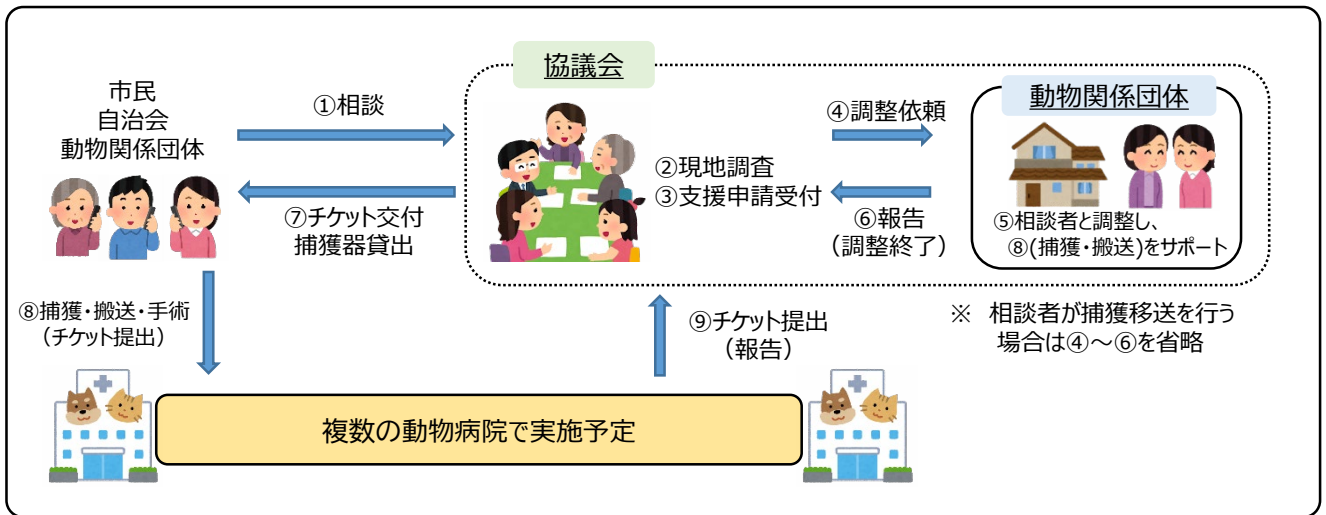
● 予算 870万円（寄附金を活用）

● 予定頭数 600頭（野良猫500頭、多頭飼育100頭）

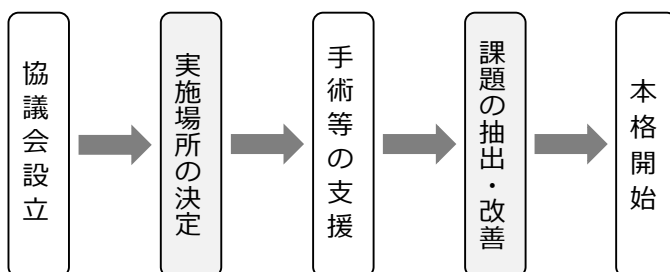
● 支援対象 野良猫：苦情発生場所、猫が多い場所 等

多頭飼育：福祉の面から支援が必要と認められる場合

● 手術支援の流れ



● モデル事業のフロー



R6からの本格開始を目指し、
手術支援を行いながら、
課題の抽出・改善を行う。

〔・福祉担当部署等の参加
・協力病院・団体の確保〕